

# 下水道事業

2024/2/5

## 京田辺市上下水道事業経営審議会（第2回）

---

（今回確認するポイントについて）

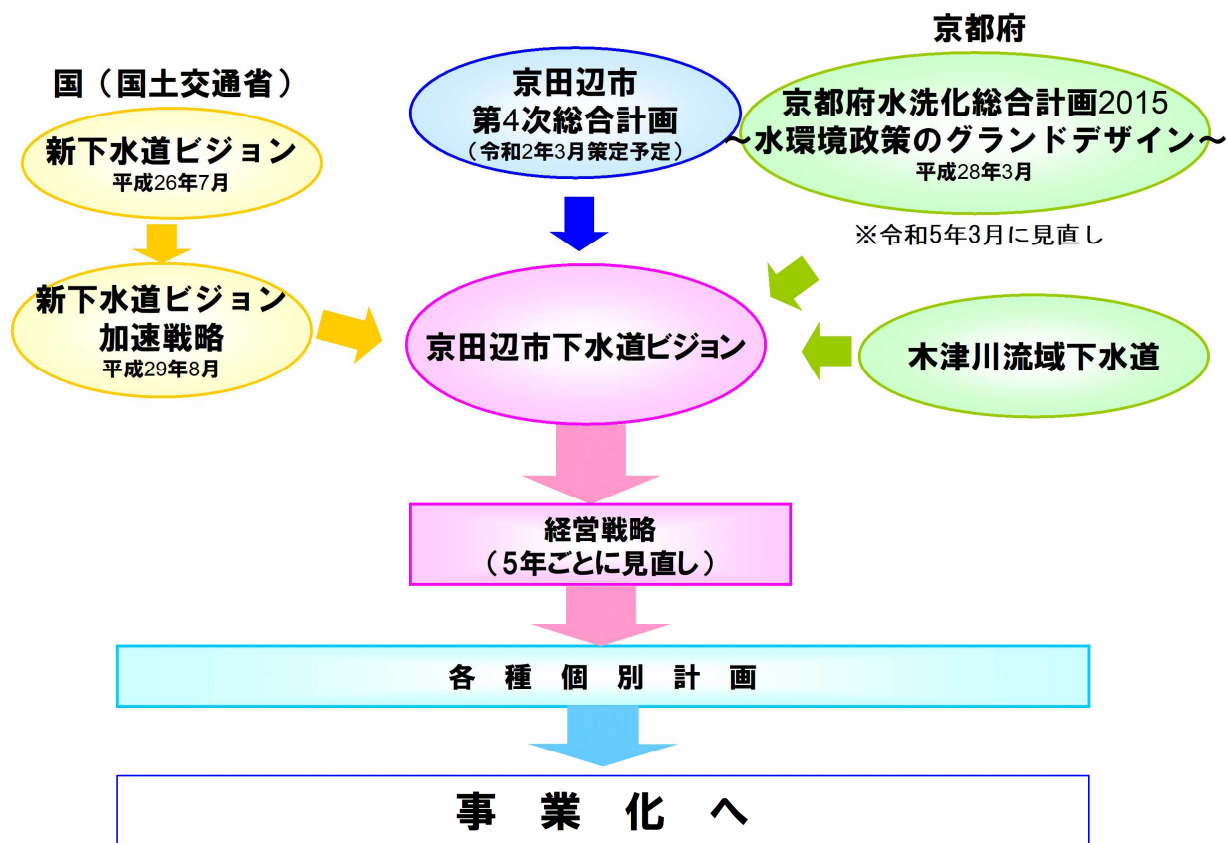


1. 現行計画の概要
2. 今回確認するポイント
3. 人口・水量の近年の動向
4. 投資額の近年の動向と  
施策の取組状況
5. 近年の経営状況
6. まとめと今後の進め方

# 1. 現行計画の概要

## 下水道事業・農集排事業

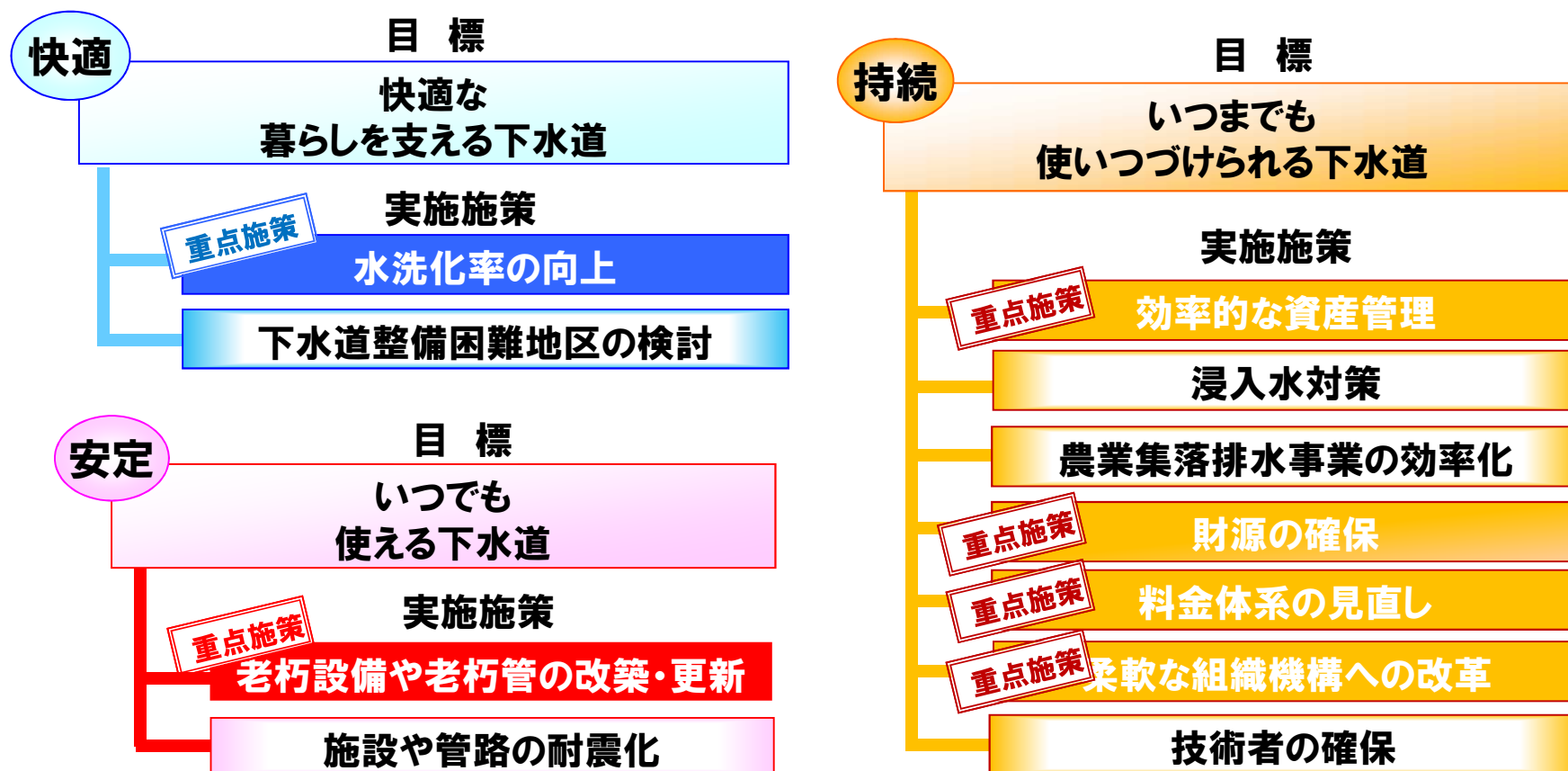
- 京田辺市下水道ビジョンは下水道事業のマスタープランである。
- 京田辺市下水道事業経営戦略は京田辺市下水道ビジョンに掲げている実施施策を着実に推進するための実施計画である。



# 1. 現行計画の概要

## 下水道事業・農集排事業

- 京田辺市下水道ビジョンでは、『未来へうけつぐ<sup>ふるさと</sup>故郷の水』を将来像（あるべき姿）として、将来像の実現にむけて「快適」、「安定」、「持続」の視点から目標や目的を達成するための実施方策を定めている。



# 1. 現行計画の概要

## 下水道事業・農集排事業

- 京田辺市下水道事業経営戦略では、京田辺市下水道ビジョンで定めた将来像を基本理念として投資計画の基本方針を定め、ストックマネジメント計画、浸入水調査、農業集落排水事業再編計画及び汚水整備計画の4つの事業を実施する計画としている。

京田辺市下水道ビジョン将来像 <基本理念>

ふるさと  
未来へうけつぐ故郷の水

### 経営戦略 <基本方針>

- 【快適】 快適な暮らしを支える下水道
- 水洗化率の向上（財源）
  - 下水道整備困難地区の検討（投資）  
合併浄化槽による整備も視野に入れた方策検討
- 【安定】 いつでも使える下水道
- 老朽設備や老朽管の改築・更新（投資）  
ストックマネジメント計画による改築更新の平準化
  - 施設や管路の耐震化（投資）  
管路の耐震化の計画的実施（ストックマネジメント計画に基づく改築更新）
- 【持続】 いつまでも使いつづけられる下水道
- 効率的な資産管理（投資）  
必要な投資額の把握と投資額の平準化
  - 浸入水対策（投資）  
浸入水調査の実施、管路の改築更新による浸入水削減
  - 農業集落排水事業の効率化（投資）  
機能診断、最適化構想、再編計画の策定
  - 財源の確保（財源）  
補助金の確保、企業債の活用、使用料の改定
  - 使用料体系の見直し（財源）
  - 柔軟な組織機構への改革（人材）  
上下水道部としての一体的な運用
  - 技術者の確保（人材）  
官民連携の活用、広域連携の活用の検討

### 投資の方向性（基本方針）

- 老朽設備や老朽管の改築・更新**  
ストックマネジメント計画による改築更新の平準化
- 施設や管路の耐震化**  
管路の耐震化の計画的実施
- 効率的な資産管理**  
必要な投資額の把握と投資額の平準化
- 浸入水対策**  
浸入水調査の実施  
管路の改築更新による浸入水削減
- 農業集落排水事業の効率化**  
機能診断、最適化構想、再編計画の策定
- 下水道整備困難地区の検討**  
合併浄化槽による整備も視野に入れた方策検討

### 施設整備の施策

ストックマネジメント計画

浸入水調査

農業集落排水事業再編計画

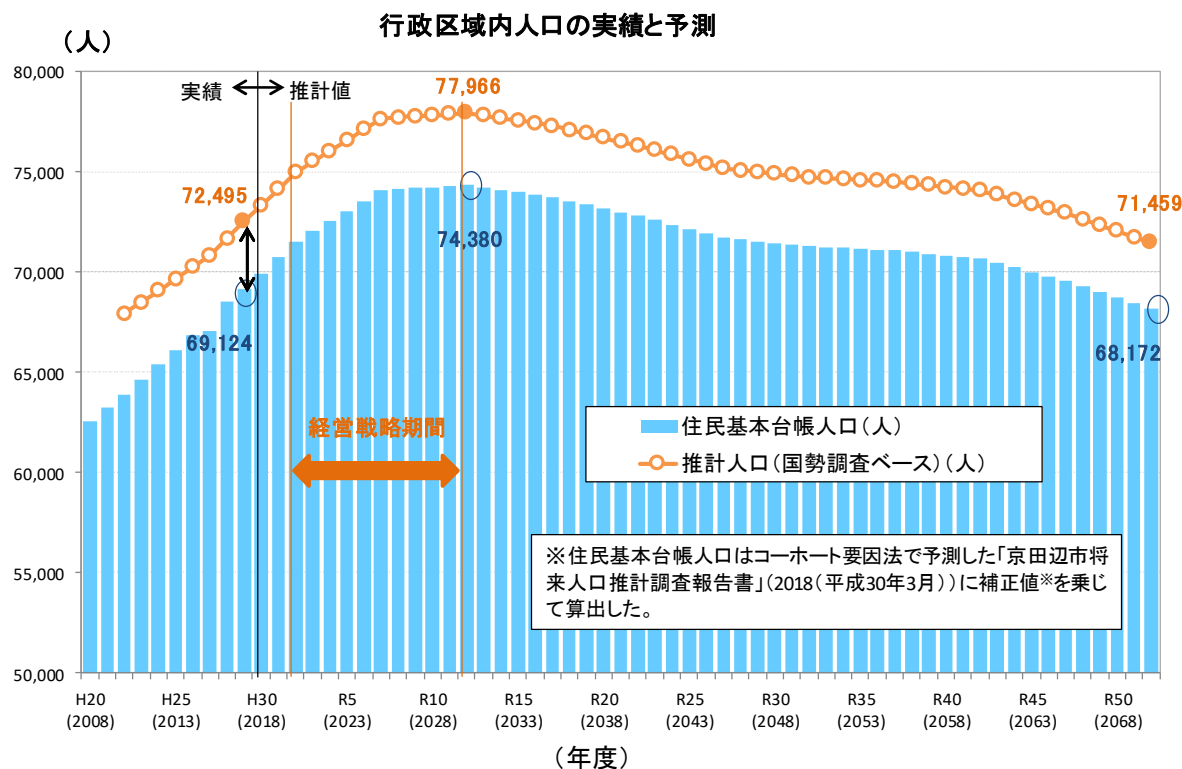
汚水整備計画

# 1. 現行計画の概要

## 下水道事業・農集排事業

### 現行計画における下水道有収水量等の見通し

- 行政区域内人口については、上水道と整合を図っている。
- 人口は計画期間中は増加していく見通しとして計画を策定。
- ピークは2030（令和12）年度となり、それ以降は減少傾向に転じる見通しとしている。



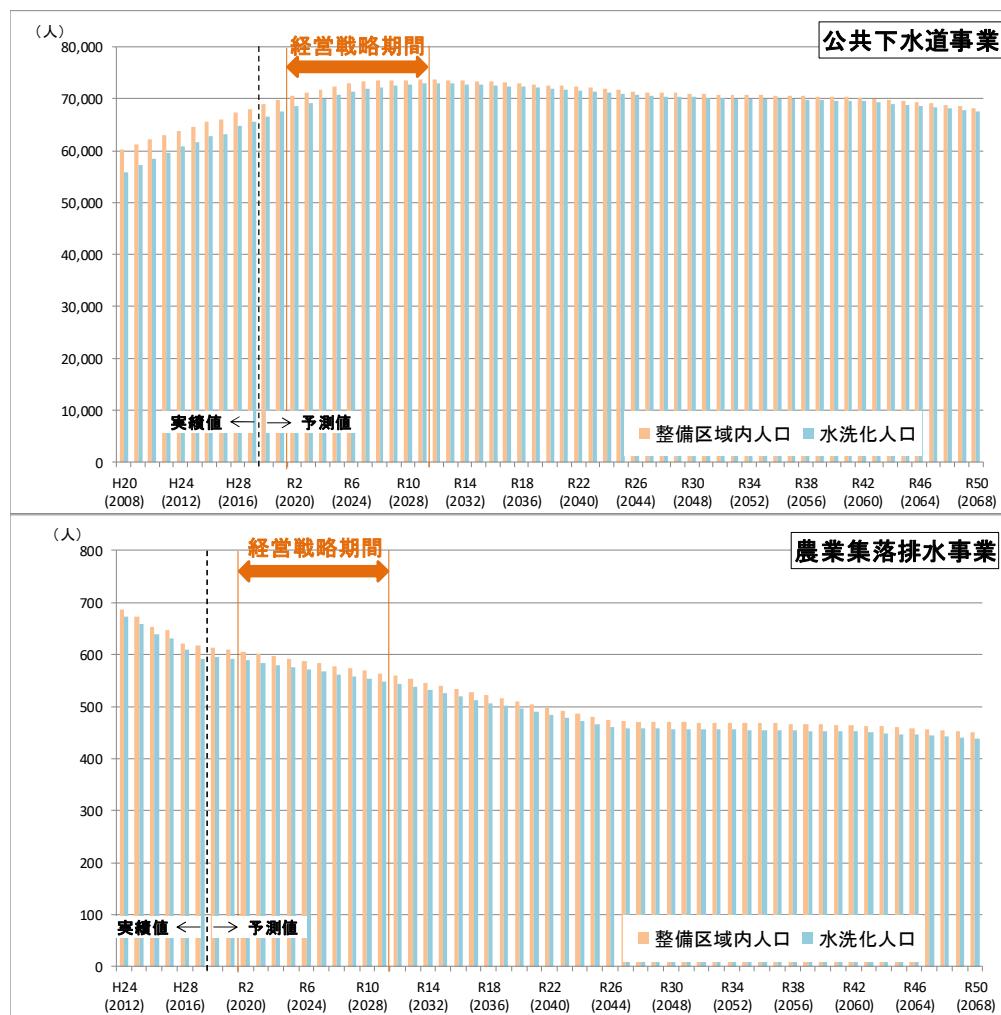
# 1. 現行計画の概要

## 下水道事業・農集排水事業

### 現行計画における下水道有収水量等の見通し

- 公共下水道事業の水洗化人口については、2030（令和12）年度にピークを迎えるまで増加し、その後は減少していく見通しとして計画を策定している。

- 農業集落排水事業の水洗化人口については、すでに減少しており、将来も減少していく見通しとして計画を策定している。

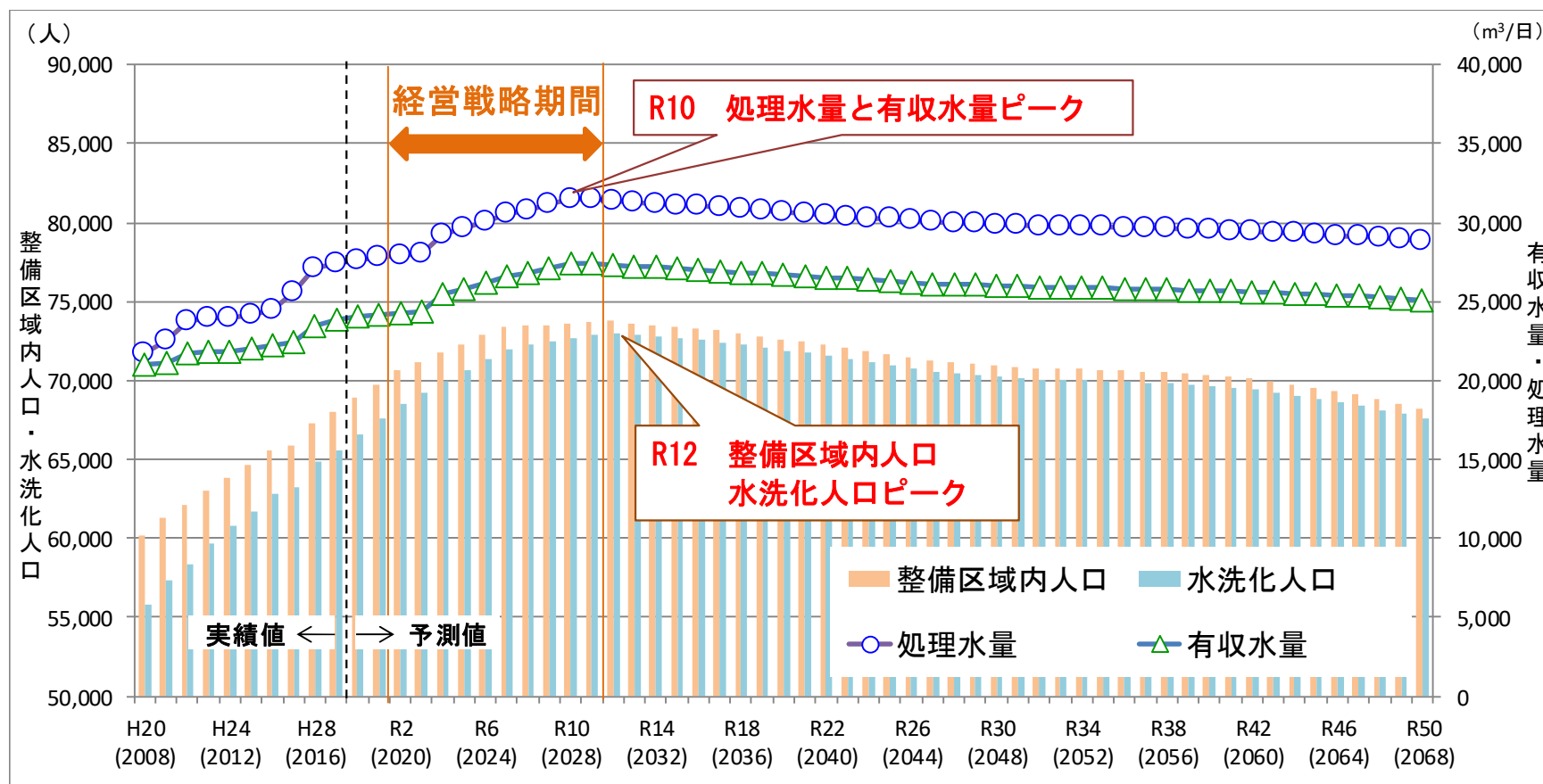


# 1. 現行計画の概要

## 下水道事業

### 現行計画における下水道有収水量等の見通し

- 公共下水道事業の有収水量については、2028（令和10）年度にピークを迎えるまで増加し、その後は減少していく見通しとして計画を策定している。



出典：京田辺市下水道ビジョン（R2.4）P.41 図4.4有収水量予測（公共下水道事業）  
京田辺市下水道事業経営戦略（R2.4）P.39 図5.4有収水量予測（公共下水道事業）



## 2. 今回確認するポイント

下水道事業  
農集排事業

### ① 上水道の水需要動向を踏まえた今後の下水道有収水量

- 上水道との整合を図りつつ、今後の下水道有収水量予測と下水道収益の見直しを行う。
- 本資料では、**人口及び有収水量の近年の動向**を確認し、実績値と計画値の乖離状況を確認するとともに、有収水量予測を見直すにあたっての留意事項を整理する。

### ② 施策進捗状況などを踏まえた今後の事業量（投資）

- 近年の事業量や施策の進捗状況を踏まえ、京田辺市下水道事業を取り囲む課題を整理し、ビジョンの施策見直しを行うとともに今後の事業量の見直しを行う。
- 本資料では、**投資額の近年の動向と重点施策の進捗状況**を整理する。

### ③ ①、②にもとづいた経営の見直し

- 公共下水道事業の料金改定（令和2年改定、令和3年7月施行）後の経営の見直しを確認する。
- 再改定が必要な場合、その時期や改定幅の目安を示す。
- 本資料では、**近年の経営状況**を整理する。

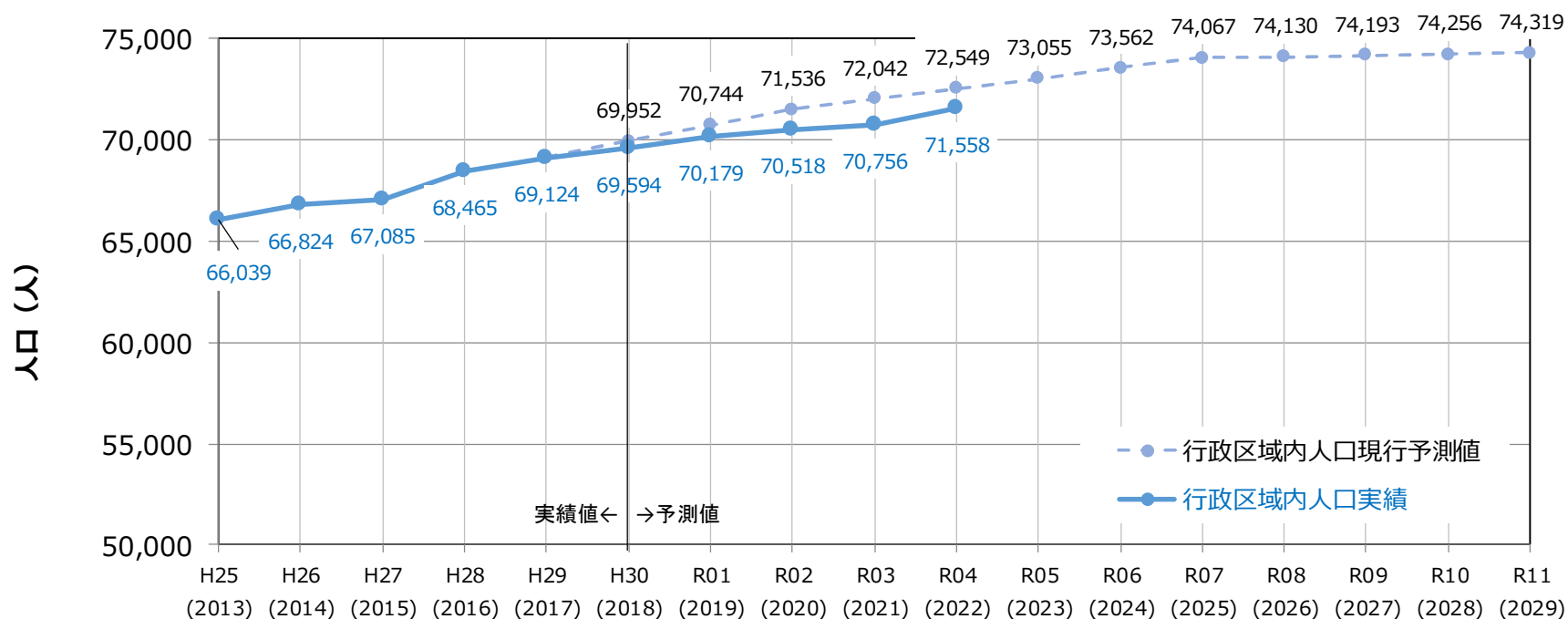
6章では本資料で整理した内容を踏まえて**今後の審議会の進め方**を示す。

### 3. 人口・水量の近年の動向

下水道事業  
農集排事業

#### 行政区域内人口

- 行政区域内人口は、予測値に比べて低位で推移。
- 国立社会保障人口問題研究所が令和2年度の国勢調査を反映した各市町村の推計人口を2023年12月22日に公表しており、これに伴い市の人口ビジョンが見直される可能性があることに留意して下水道有収水量予測を見直す必要がある。

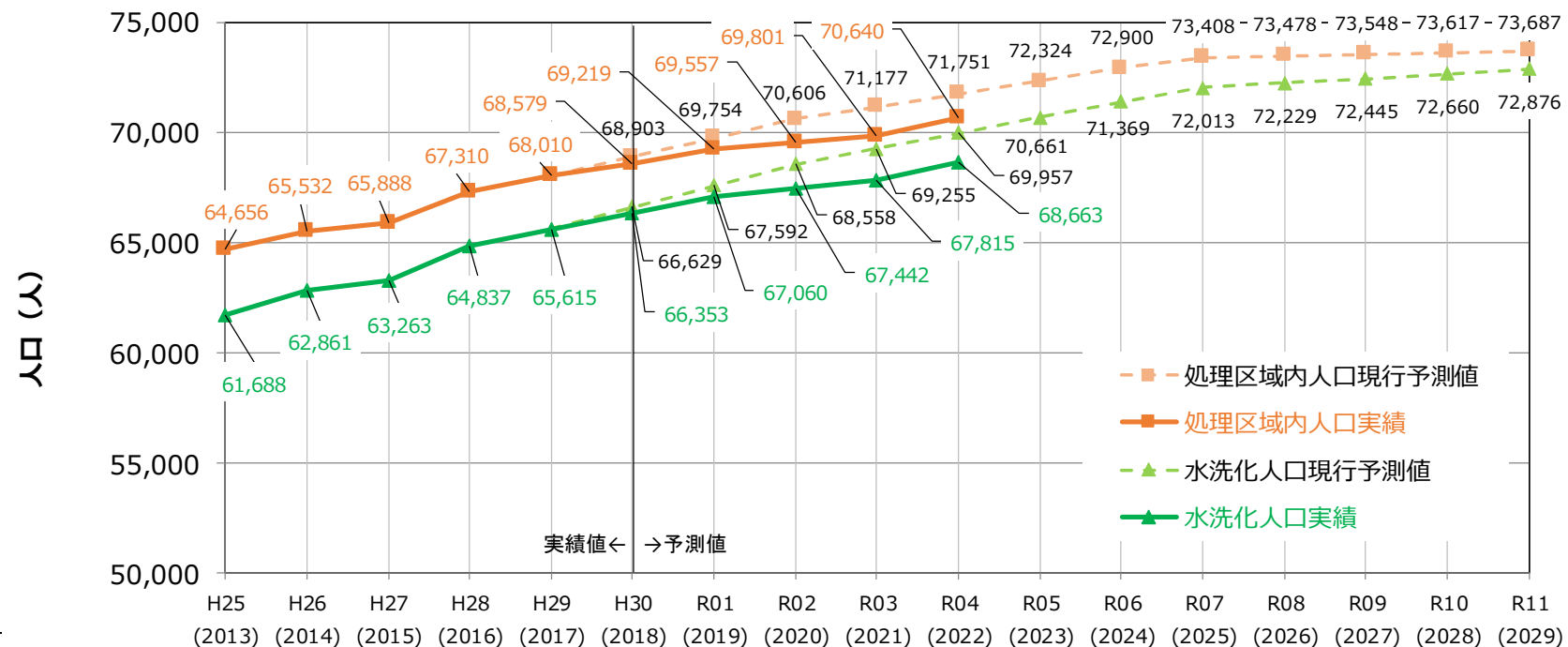


# 3. 人口・水量の近年の動向

## 下水道事業

### 処理区域内人口・水洗化人口

- 公共下水道事業は、処理区域内人口・水洗化人口ともに、予測値に比べて 低位で推移。
- 処理区域内人口は、行政区域内人口に下水道普及率を乗じて予測。  
水洗化人口は、処理区域内人口に水洗化率を乗じて予測。  
行政区域内人口の実績値が予測値に比べて低位であったため、実績値と相違が発生。（予測値・実績値ともに住民基本台帳ベース）



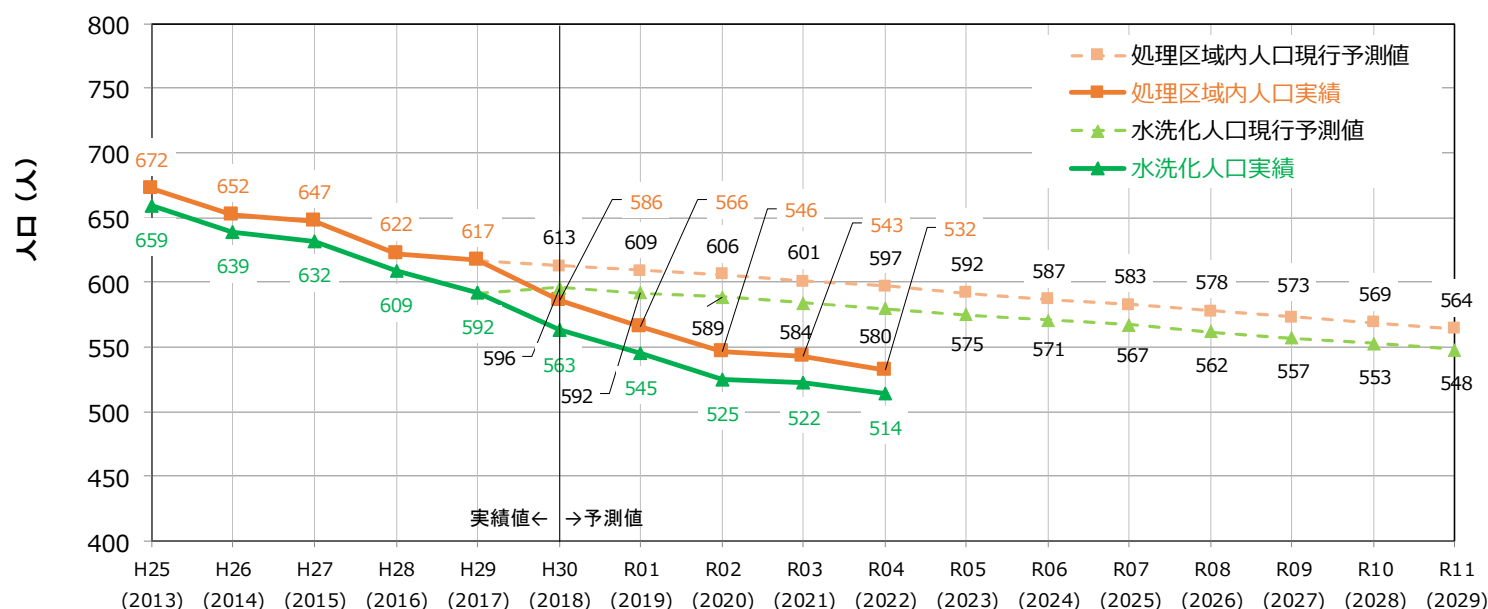
出典：京田辺市下水道ビジョン（R2.4）P.9 図2.5処理区域内人口の推移（公共下水道）

### 3. 人口・水量の近年の動向

### 農集排水事業

#### 処理区域内人口・水洗化人口

- 農業集落排水事業は、処理区域内人口・水洗化人口ともに、予測値に比べて低位で推移。
- 処理区域内人口は、行政区域内人口に下水道普及率を乗じて予測。  
水洗化人口は、処理区域内人口に水洗化率を乗じて予測。  
行政区域内人口の実績値が予測値に比べて低位であったため、実績値と相違が発生。（予測値・実績値ともに住民基本台帳ベース）
- 農集処理区の人口減少が、予測値に比べ実績値の方が平均50人程度低く、公共下水道に比較して誤差が大きくなっている。

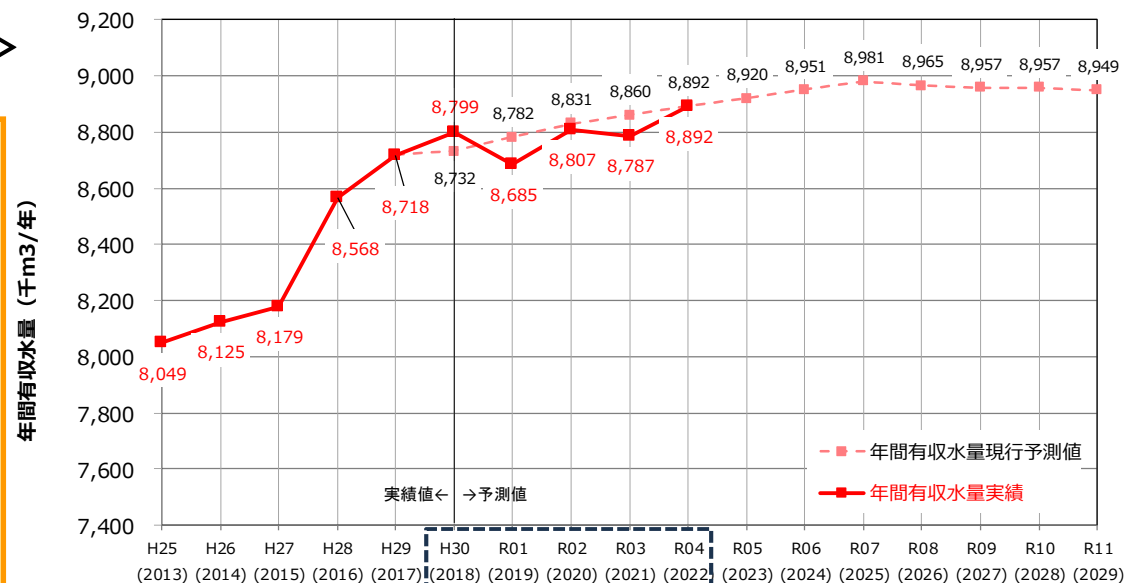


# 3. 人口・水量の近年の動向

## 下水道事業

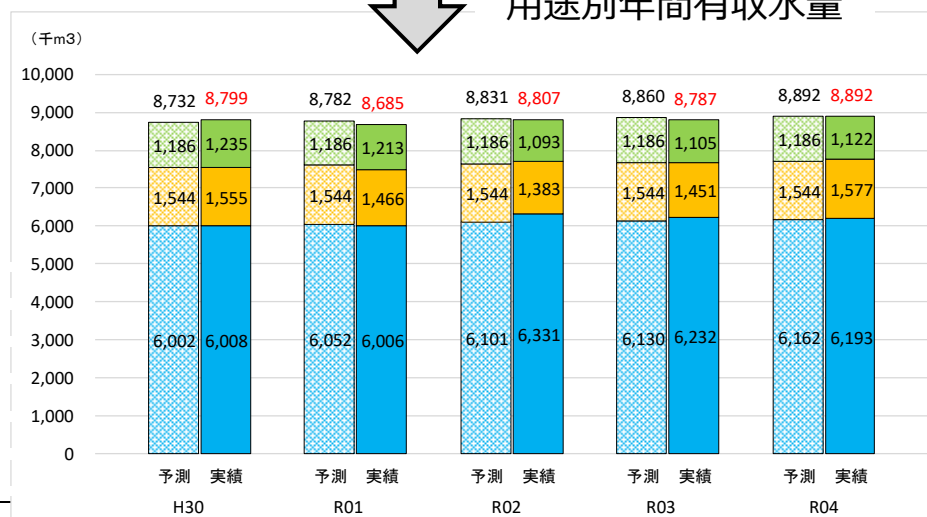
### 有収水量 <公共下水道>

- 有収水量は、多少の変動はあるがほぼ予測値と同位で推移。
- 予測値は、工場用及びその他水量について平成29実績値に基づく固定値として予測したが、実績値が低位であったため、実績値と相違が発生。
- 令和2～3年は、新型コロナウイルスの影響の有無を考慮する必要がある。



### 用途別年間有収水量

- 家庭用水量(予測)
- 家庭用水量(実績)
- 工場用水量(予測)
- 工場用水量(実績)
- その他水量(予測)
- その他水量(実績)



出典：京田辺市下水道ビジョン (R2.4) P.10 図2.6有収水量の推移 (公共下水道)

# 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

## 投資額（建設改良費及び流域下水道建設負担金） 下水道事業

- 公共下水道事業の建設改良費は、令和3～4年度の2か年は、実績値が計画値を上回っているが、その他の年度は、同値もしくは下回っている。工事の進捗等により計画値と実績に相違が出たものと推測される。
- 流域下水道建設負担金は、5か年とも実績値が計画値を、同値もしくは下回っている。安全側をとった計画値であったことによる。

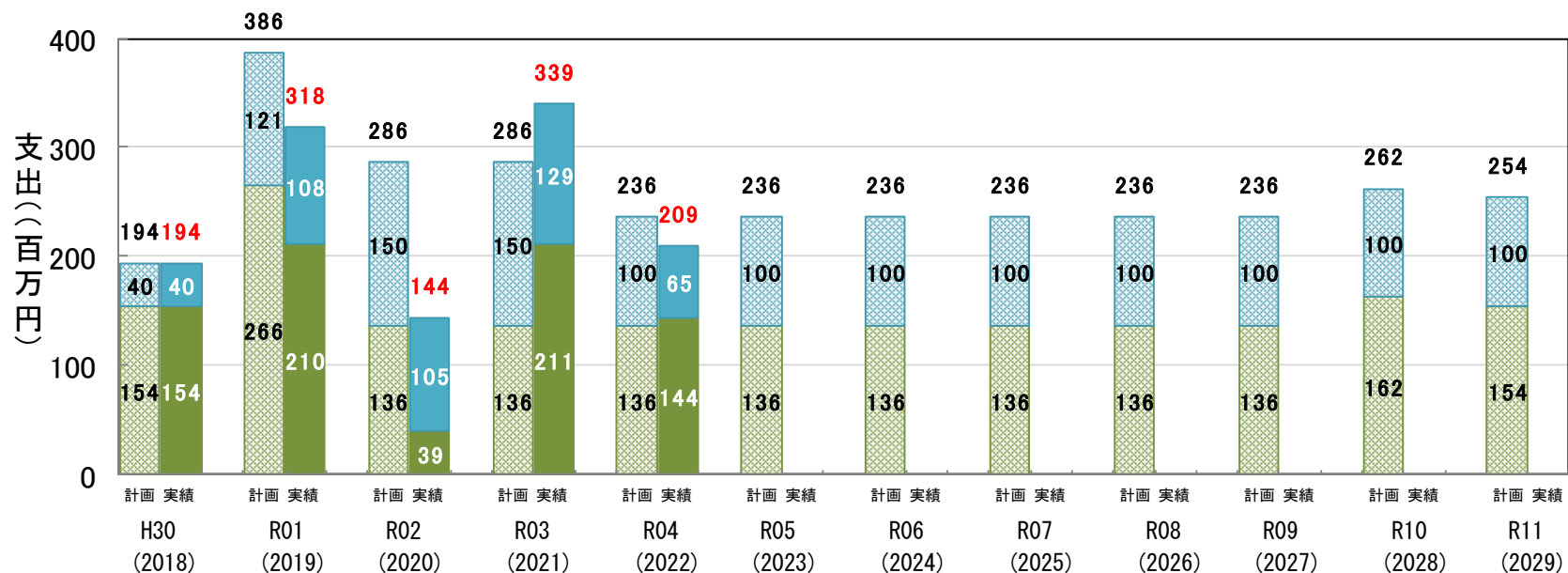
### 投資額内訳

建設改良費（計画）

建設改良費（実績）

流域下水道建設負担金（計画）

流域下水道建設負担金（実績）



出典：京田辺市下水道ビジョン（R2.4）P.47 図4.10公共下水道事業 資本的収支の見通し（一部抜粋）  
京田辺市下水道事業経営戦略（R2.4）P.50 図5.11財政シミュレーション結果＜公共下水道・使用料改定ケース＞（一部抜粋）

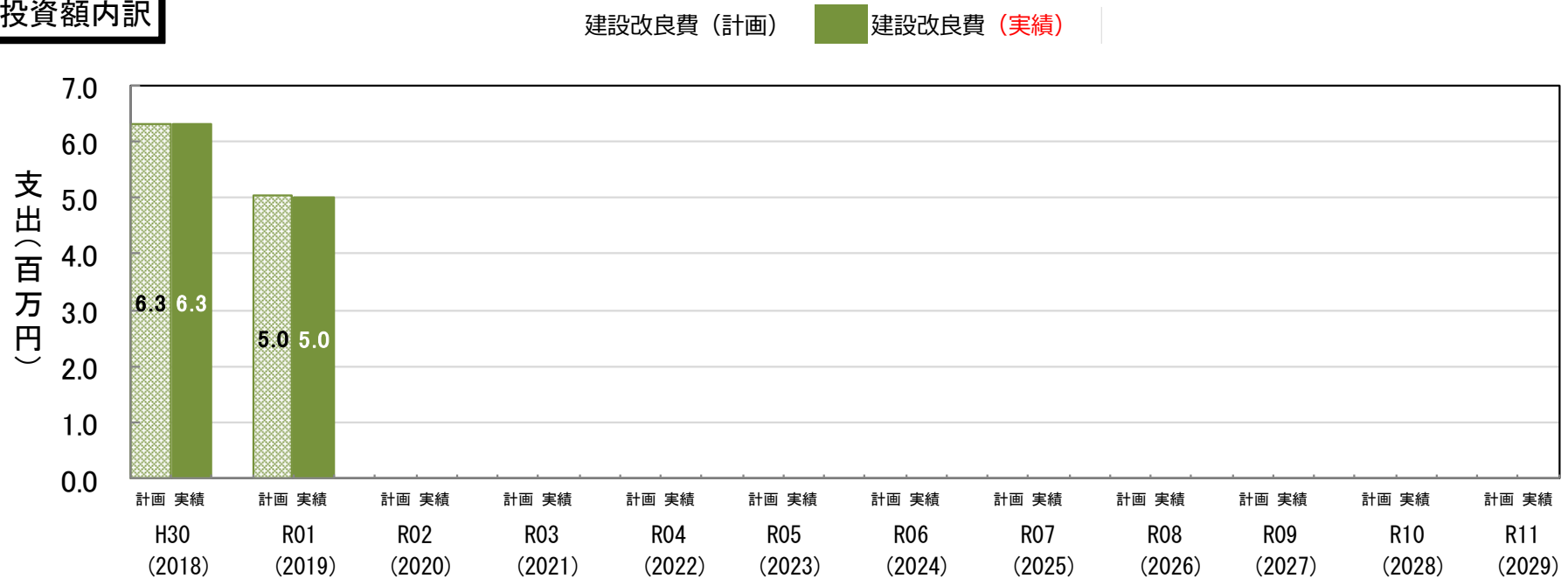
# 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

## 投資額（建設改良費）

### 農集排水事業

- 農業集落排水事業は、平成30年度と令和元年度に建設改良を実施しており、事業費総額は、京田辺下水道事業経営戦略の計画値と同値である。
- 施設整備は完了しており、現在は維持管理に重点を置いて事業を進めているため、今後、改築・更新が行われるまで新規投資は発生しない見込みである。

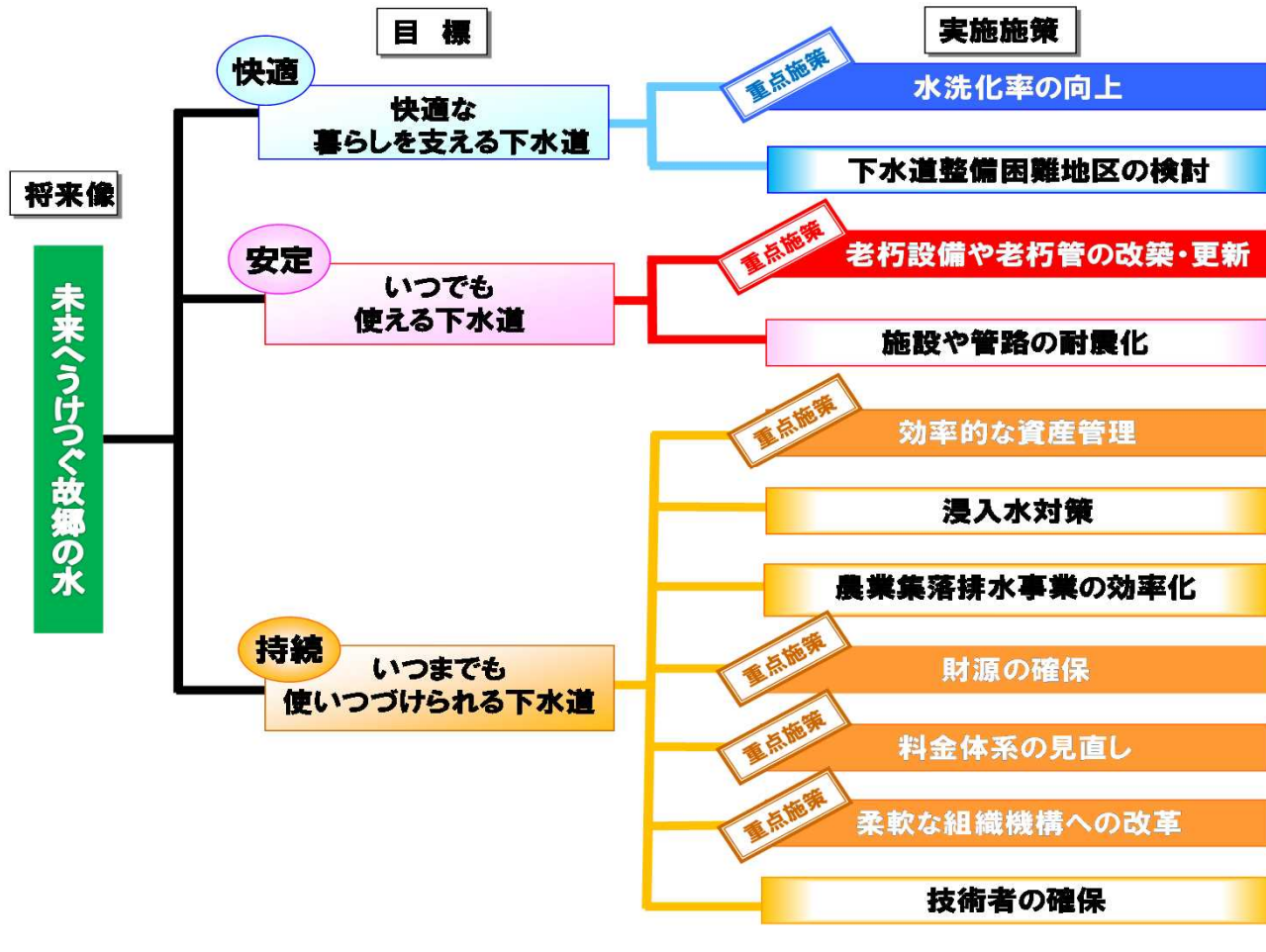
投資額内訳



出典：京田辺市下水道ビジョン（R2.4）P.48 図4.12農業集落排水事業 資本的収支の見通し（一部抜粋）  
京田辺市下水道事業経営戦略（R2.4）P.53 図5.15財政シミュレーション結果＜農業集落排水＞（一部抜粋）

# 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

下水道事業  
農集排水事業



このうち重点施策について、取組状況を整理する。



## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### 快適な暮らしを支える下水道（快適）

#### ➤ 水洗化率の向上

##### 具体的な取組

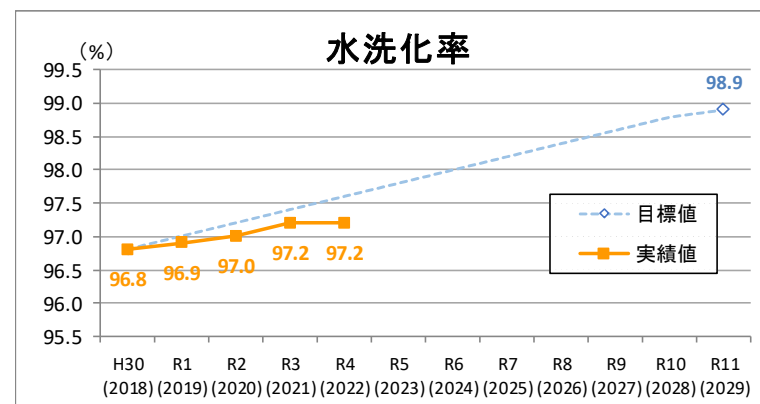
##### ● 水洗化の啓発活動

現在、市のHPに「水洗化（下水道への接続）のお願い！」を掲載し、水洗化の啓発を行っていますが、これに加え、生活排水の水質改善などの広報啓発や未水洗家屋及び事業所を個別に訪問するなどの取り組みについて検討していきます。

##### 現状の取組状況

浄化槽排水等の苦情に対し個別訪問を実施した。  
また、下水道の役割や適正排水などについて、広報誌へ特集記事を掲載した。

下水道事業  
農集排事業



## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつでも使える下水道（安定）

- 老朽設備や老朽管の改築・更新①

#### 具体的な取組

##### ●ストックマネジメント計画の策定

本市の管路施設は、開発団地の建設時期が集中しているため、耐用年数を迎え、改築・更新が一時期に集中します。一方で、硫化水素が発生し、管路施設の腐食が進行しやすいマンホールポンプの圧送先や段差が大きいマンホールが存在します。管路の腐食が進行すると道路陥没等の危険性が増し、市民生活に影響を与えるため、未然に防止する必要があります。

そこで、本市ではストックマネジメント計画について現在策定中であり、「リスクを考慮した目標設定」に対して、「点検・調査、計画」と「改築・修繕計画」を策定します。

#### 現状の取組状況

公共下水道事業は、令和元年度にストックマネジメント計画を策定、令和2年度に管路の長寿命化実施設計業務を委託、令和3年度に松井ヶ丘地区と三山木七瀬川地区において長寿命化工事を実施、令和3～4年度は、ストックマネジメント計画に基づく管路の点検調査を実施した。

農業集落排水事業は、令和元年度に、農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための「最適整備構想」を策定した。

下水道事業  
農集排事業

## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつでも使える下水道（安定）

- 老朽設備や老朽管の改築・更新②

下水道事業  
農集排水事業

#### 具体的な取組

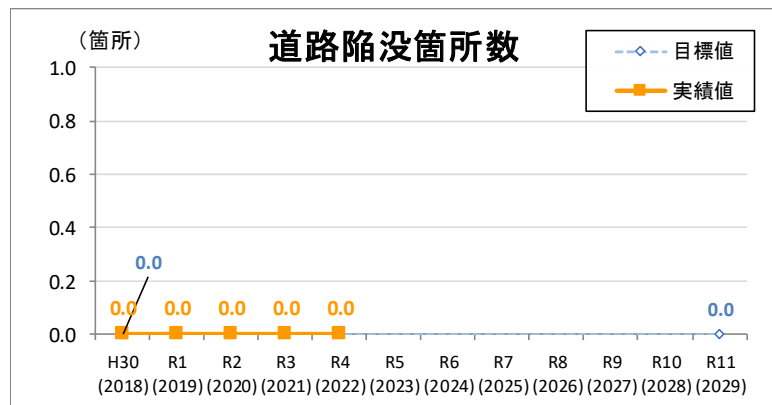
- 計画に基づく、点検・調査の実施、並びに対策工事の実施

ストックマネジメント計画では、公共下水道の全整備済区域を対象として、中長期的な施設の劣化状況を予測し、計画的に点検・調査を行うとともに事業費と劣化状況のバランスを見ながら、修繕・改築事業量を設定します。

#### 現状の取組状況

公共下水道事業は、令和元年度にストックマネジメント計画を策定、令和2年度に管路の長寿命化実施設計業務を委託、令和3年度に松井ヶ丘地区と三山木七瀬川地区において長寿命化工事を実施、令和3～4年度は、ストックマネジメント計画に基づく管路の点検調査を実施した。

農業集落排水事業は、令和元年度に、農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための「最適整備構想」を策定した。



## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつまでも使いつづけられる下水道（持続）

#### ➤ 効率的な資産管理

##### 具体的な取組

##### ●ストックマネジメントの実践

下水道施設のストックマネジメントは、「リスクを考慮した目標設定」に対して、「点検・調査計画」と「改築・修繕計画」策定（Plan）と実行（Do）、評価（Check）と見直し（Action）というPDCAサイクルを実践することが必要です。ストックマネジメントを実践した結果として、目標を達成し、住民等に対する説明責任を果たし、持続可能な下水道事業の運営に努めます。

##### 現状の取組状況

公共下水道事業は、令和元年度にストックマネジメント計画を策定、令和2年度に管路の長寿命化実施設計業務を委託、令和3年度に松井ヶ丘地区と三山木七瀬川地区において長寿命化工事を実施、令和3～4年度は、ストックマネジメント計画に基づく管路の点検調査を実施した。

農業集落排水事業は、令和元年度に、農業集落排水施設におけるストックマネジメントを実践するための「最適整備構想」を策定した。

下水道事業  
農集排事業

## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつまでも使いつづけられる下水道（持続）

下水道事業  
農集排事業

#### ➤ 財源の確保①

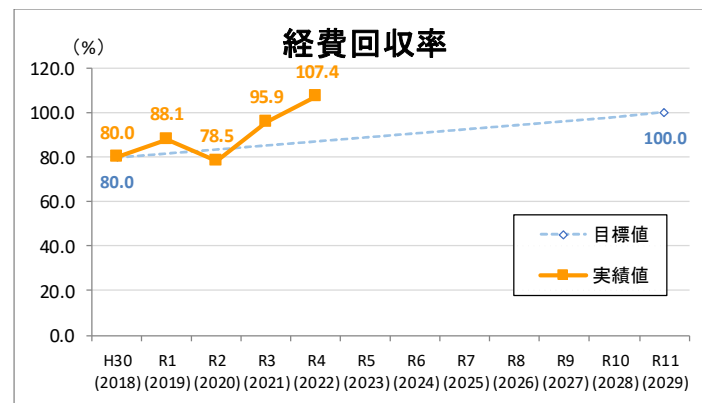
##### 具体的な取組

##### ● 使用料の改定

公共下水道事業については汚水処理費を賄えるような使用料改定を行い、経費回収率100%を目指します。

##### 現状の取組状況

公共下水道事業は、令和2年度に料金改定を実施、令和3年7月より新料金を施行した。



## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつまでも使いつづけられる下水道（持続）

#### ➤ 財源の確保②

##### 具体的な取組

##### ● 補助金の確保

改築に対する国庫補助金の継続のため、京都府や他市町とともに、引き続き国への働きかけを行い、財源の確保に努めます。

##### 現状の取組状況

毎年度、近畿市長会、京都府、京都府下水道協会等を通じ要望を提出している。

下水道事業  
農集排事業

## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつまでも使いつづけられる下水道（持続）

#### ➤ 財源の確保③

##### 具体的な取組

##### ● 企業債の活用

企業債を活用し、資本的収入の財源確保を図ります。

##### 現状の取組状況

経営戦略に基づき、事業費を抑えつつ企業債の借入を実施した。

下水道事業  
農集排事業

## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつまでも使いつづけられる下水道（持続）

#### ➤ 料金体系の見直し

##### 具体的な取組

##### ● 料金体系の見直し

家庭や事業所の使用量について分析を行い、現在の使用量の分布を把握した上で、料金体系を見直します。全体として経費回収率100%となるような料金体系を目指します。

##### 現状の取組状況

公共下水道事業は、令和2年度に料金改定を実施、令和3年7月より新料金を施行した。

下水道事業  
農集排事業



## 4. 投資額の近年の動向と施策の取組状況

### いつまでも使いつづけられる下水道（持続）

#### ➤ 柔軟な組織機構への改革

##### 具体的な取組

##### ● 組織改革

下水道業務と上水道業務について洗い出しを行い、類似する業務項目を共同化、統一化することにより、効率的に業務を実施する体制を目指します。

##### 現状の取組状況

組織体系を見直すことで下水道と上水道とで人材の融通を図り、技術者不足を補うことを目的としていたが、現状において、そこまで深刻な問題となっていないため未実施である。

今後の状況を見据えるため、上下水道併せて情報共有に取り組んでいく。

下水道事業  
農集排事業

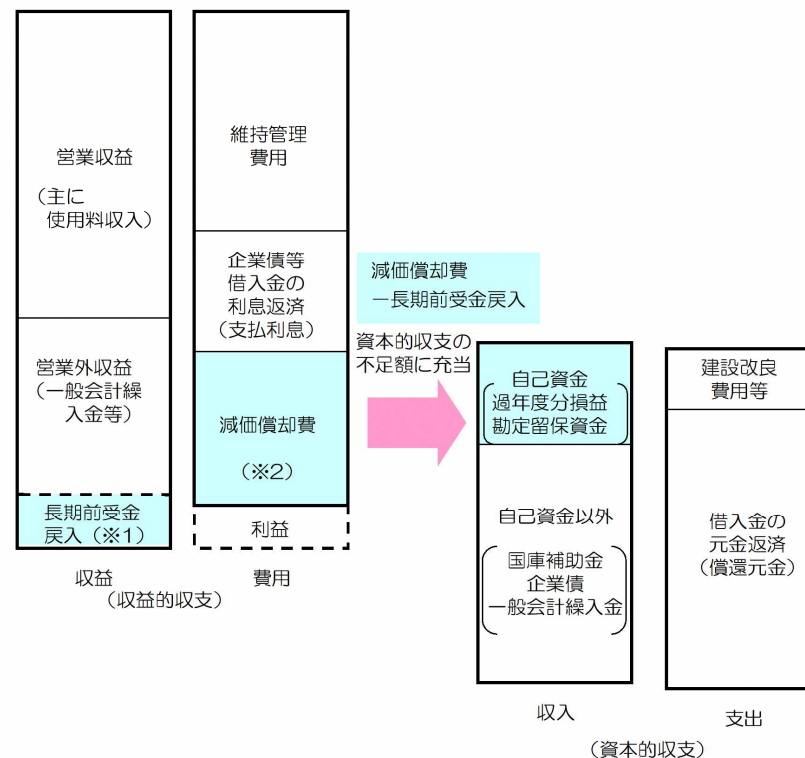
# 5. 近年の経営状況

下水道事業  
農集排事業

## 下水道事業会計について

- 経営の健全性や計画性・透明性の向上を図るため、2018（平成30）年度から地方公営企業法を適用。

- 下水道事業会計は、収益的収支と資本的収支という2つの会計で計算する。
- 収益的収支は、1年間の経常的な営業活動に伴って発生する収入と支出を整理したもの。
- 資本的収支は、長期的な事業活動に必要な支出（建設改良費等）と収入（その財源）を整理したもの。
- 収益的収支で生まれた利益や減価償却費は内部留保資金として貯えられ、資本的収支の不足額に充当される。



※1長期前受金戻入は減価償却費のうち、自己資金以外で取得した資産に対応するもので、内部留保資金からは差し引きます。

※2減価償却費とは、取得した固定資産を使用することによって生じる経済的価値の減少を費用として換算するものです。費用の項目に計上しますが、実際の支払行為は発生せず、内部留保資金として蓄えられ、資本的収支の補てん財源に充てることや老朽化した資産の更新等に使用します。

# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 下水道使用料（令和5年12月1日現在）

- 公共下水道使用料は、基本料金と超過料金の2部料金制である
- 令和2年に供用開始後初となる料金改定を実施（新料金施行は令和3年7月1日）

（1か月単位、消費税抜き）

用途	基本水量	基本料金	1m3につき	
一般 汚水	10m3まで	619円	11~20m3	66円
			21~30m3	76円
			31~100m3	90円
			101~1,000m3	104円
			1,001~1,500m3	119円
			1,500m3以上	128円
公衆浴場 汚水	—	—	300m3まで28円	301m3以上38円

下水道使用料は、上表により算出した額に消費税を加える

（1か月単位、消費税抜き）

用途	基本水量	基本料金	1m3につき	
一般 汚水	—	619円	1~8m3	22円
			9~20m3	96円
			21~30m3	106円
			31~100m3	120円
			101~1,000m3	134円
			1,001~1,500m3	149円
1,500m3超	158円			
公衆浴場 汚水	—	—	300m3まで28円	301m3以上38円

下水道使用料は、上表により算出した額に消費税を加える

## 5. 近年の経営状況

### 農集排事業

#### 農業集落排水処理施設使用料（令和5年12月1日現在）

- 農業集落排水処理施設使用料は、基本料金と人員割料の2部料金制である
- 供用開始から料金改定を行っていない
- 内税方式

（1か月単位、消費税込み）

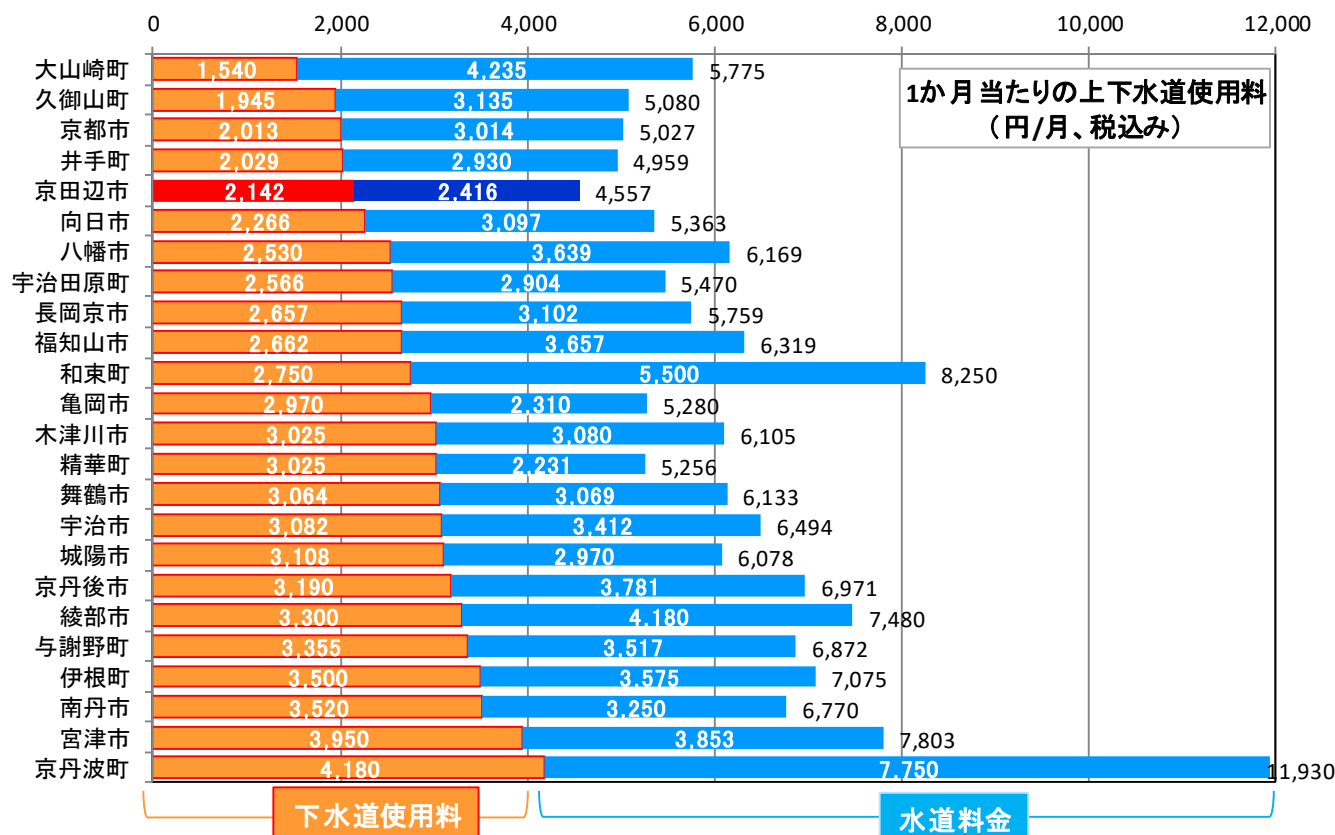
一般用	基本料	1戸あたり	2,500円
	人員割料	1人あたり	600円
	適用範囲	一般世帯	
業務用	基本料	1事業所あたり	2,500円
	人員割料	換算処理人員1人あたり	600円
	適用範囲	事業所、事務所、集会施設等	

# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 下水道使用料比較（令和5年12月1日現在）

- 改定前は府内で一番安かった、改定後も低い部類に該当
- 水道料金も含めると、府内で最も低い



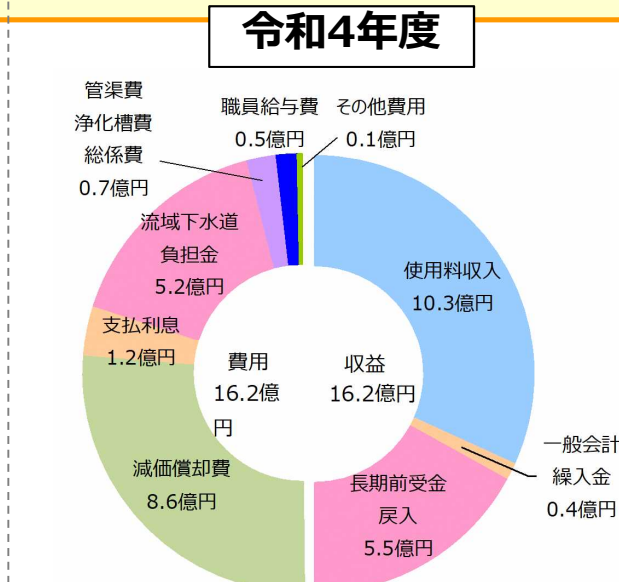
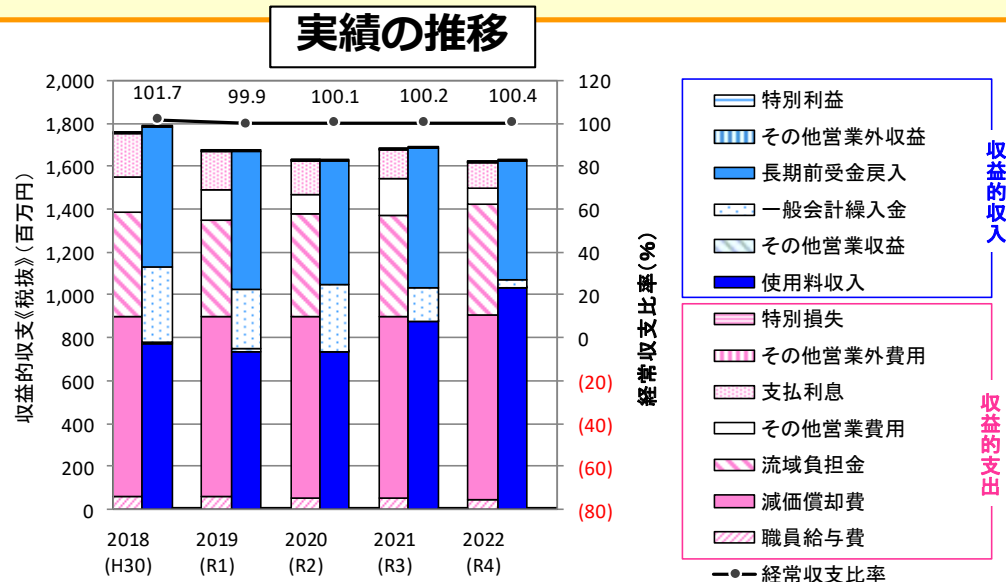
※水道管の引込口径20mm、1か月20m<sup>3</sup>使用した場合（令和5年12月1日現在）

# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 過去5年間の実績（収益的収支）

- 令和2年に料金改定を実施（新料金施行は令和3年7月1日）し、使用料収入が10億円以上となった。
- 収入の約50～60%を使用料収入が占めることになり、一般会計繰入金の金額、割合が減少。
- 支出の約50%が減価償却費、約30%前後が流域下水道負担金である。
- 経常収支比率は、令和元年を除き100%以上であり、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用を賄っている状態である。



※経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

出典：京田辺市下水道ビジョン（R2.4）P.26 図3.10下水道事業 収益的収支と資本的収支  
京田辺市下水道事業経営戦略（R2.4）P.20 図2.14公共下水道事業 収益的収支と資本的収支

# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 過去5年間の実績（収益的収支）

（下水道管の維持・補修や汚水処理など下水道事業の日々の活動で発生する収入及び費用）

単位：千円（税抜）

		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
収入	営業収益	779,500	746,907	734,954	879,871	1,035,468
	うち下水道使用料収入	767,927	735,061	733,766	878,350	1,034,297
	営業外収益	1,002,921	924,051	889,557	801,313	588,173
	うち一般会計繰入金	350,000	282,000	317,000	151,375	36,436
	うち長期前受金戻入	652,611	641,930	572,488	649,848	551,720
	特別利益	1	2,584	22	40	11
	収益合計	1,782,422	1,673,542	1,624,533	1,681,224	1,623,652
費用	営業費用	1,550,147	1,493,498	1,465,481	1,539,721	1,494,228
	うち職員給与費	59,085	57,585	49,521	50,222	46,358
	うち減価償却費	837,752	840,232	851,149	851,007	857,925
	うち流域下水道負担金	489,722	447,059	478,624	470,902	521,827
	営業外費用	203,138	179,009	157,453	137,816	122,682
	うち支払利息	202,326	177,873	155,671	136,725	121,404
	特別損失	6,985	454	887	1,657	6,655
費用合計	1,760,270	1,672,961	1,623,821	1,679,194	1,623,565	
収 支		22,152	581	712	2,030	87

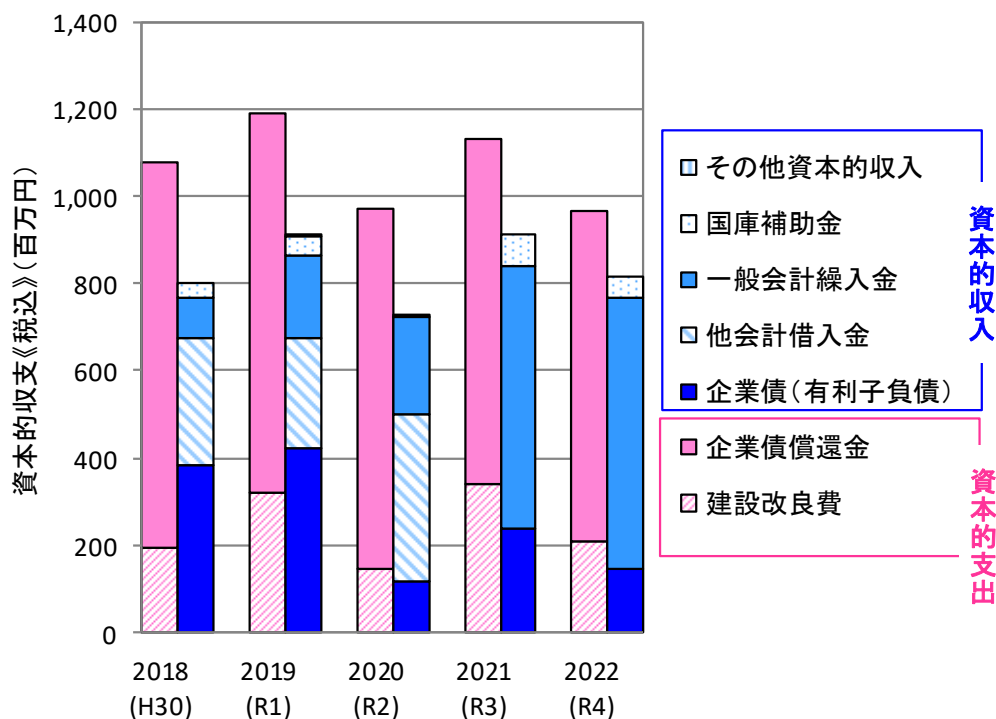
# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

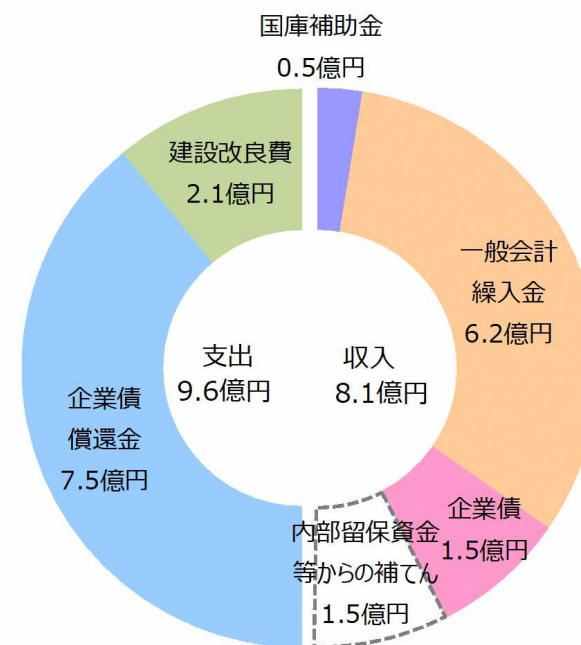
### 過去5年間の実績（資本的収支）

- 企業債と一般会計繰入金が主な財源である。
- 支出は企業債償還金が約80%前後であり、建設改良費は少ない。
- 資本的収支は毎年不足おり、1.5～2.8億円を内部留保資金等から補填している。

実績の推移



令和4年度





# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 過去5年間の実績（資本的収支）

（下水道管の布設や施設の改良など投資活動で発生する収入と支出）

単位：千円（税込）

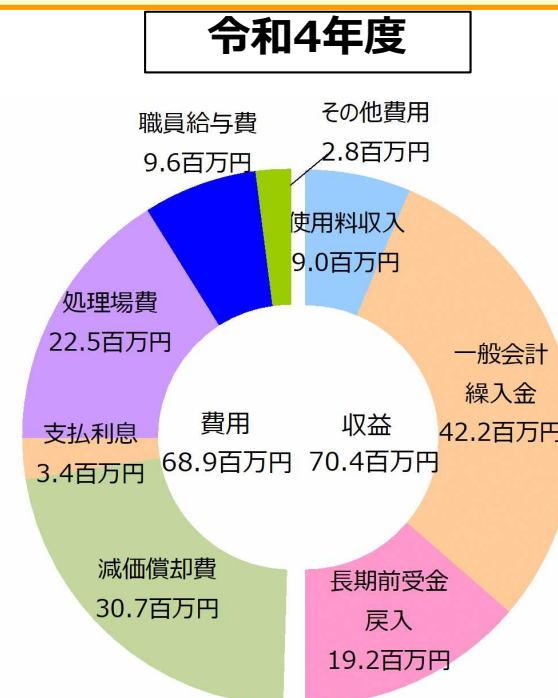
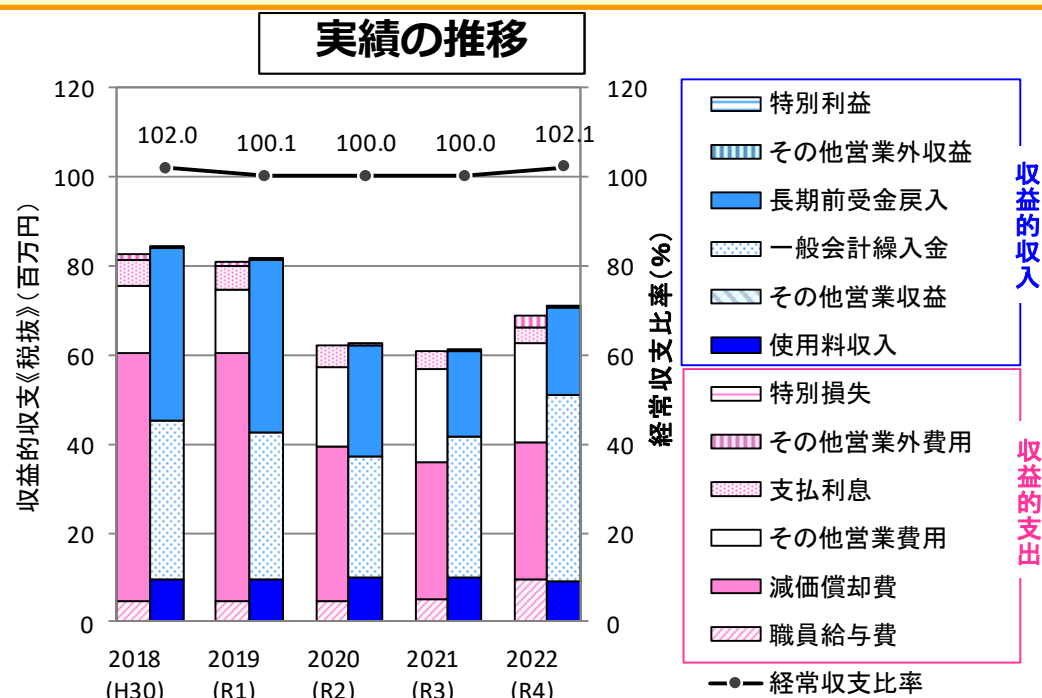
		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
収入	企業債(有利子負債)	381,200	424,400	117,100	237,500	145,100
	他会計借入金	295,000	250,000	385,000	0	0
	一般会計繰入金	90,497	191,438	221,404	603,100	624,000
	国庫補助金	36,500	43,500	4,000	71,000	45,000
	その他資本的収入	0	26	0	0	0
	収入合計	803,197	909,364	727,504	911,600	814,100
支出	建設改良費	193,678	317,987	143,728	339,288	209,298
	うち管路建設費	125,974	178,355	16,290	192,106	123,269
	うち流域下水道負担金	39,778	107,541	104,750	128,636	65,248
	企業債償還金(元金)	882,002	872,695	829,571	790,788	754,969
	その他資本的支出	0	0	0	0	0
	支出合計	1,075,679	1,190,682	973,299	1,130,076	964,267
収支		△ 272,482	△ 281,318	△ 245,795	△ 218,476	△ 150,167

# 5. 近年の経営状況

## 農集排水事業

### 過去5年間の実績（収益的収支）

- 収入うち、使用料収入は約12～17%しかなく、一般会計繰入金が約40～60%を占めている状況である。
- 支出の約45～70%が減価償却費であり、約30%が処理場費である。
- 経常収支比率は100%以上であり、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用を賄っている状態である。



※経常収支比率 = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

出典：京田辺市下水道ビジョン (R2.4) P.26 図3.11農業集落排水事業 収益的収支と資本的収支  
京田辺市下水道事業経営戦略 (R2.4) P.21 図2.15農業集落排水事業 収益的収支と資本的収支

# 5. 近年の経営状況

## 農集排事業

### 過去5年間の実績（収益的収支）

（下水道管の維持・補修や汚水処理など下水道事業の日々の活動で発生する収入及び費用）

単位：千円（税抜）

		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
収 益	営業収益	9,704	9,383	10,152	10,075	8,994
	うち下水道使用料収入	9,704	9,383	10,152	10,075	8,994
	営業外収益	74,281	71,680	51,909	50,848	61,406
	うち一般会計繰入金	35,600	33,000	26,945	31,453	42,151
	うち長期前受金戻入	38,674	38,674	24,958	19,389	19,248
	うちその他	7	7	6	6	7
	特別利益	0	0	0	0	0
	収益合計	83,985	81,063	62,061	60,923	70,400
費 用	営業費用	75,257	74,593	57,314	56,907	62,755
	うち職員給与費	4,782	4,866	4,606	4,945	9,577
	うち減価償却費	55,402	55,402	34,645	30,920	30,693
	うちその他	15,073	14,325	18,063	21,042	22,485
	営業外費用	7,116	6,402	4,718	4,012	6,179
	うち支払利息	6,176	5,415	4,718	4,012	3,387
	うちその他	940	987	0	0	2,791
特別損失	0	0	0	0	0	
	費用合計	82,373	80,995	62,032	60,919	68,934
収 支		1,612	68	29	4	1,466

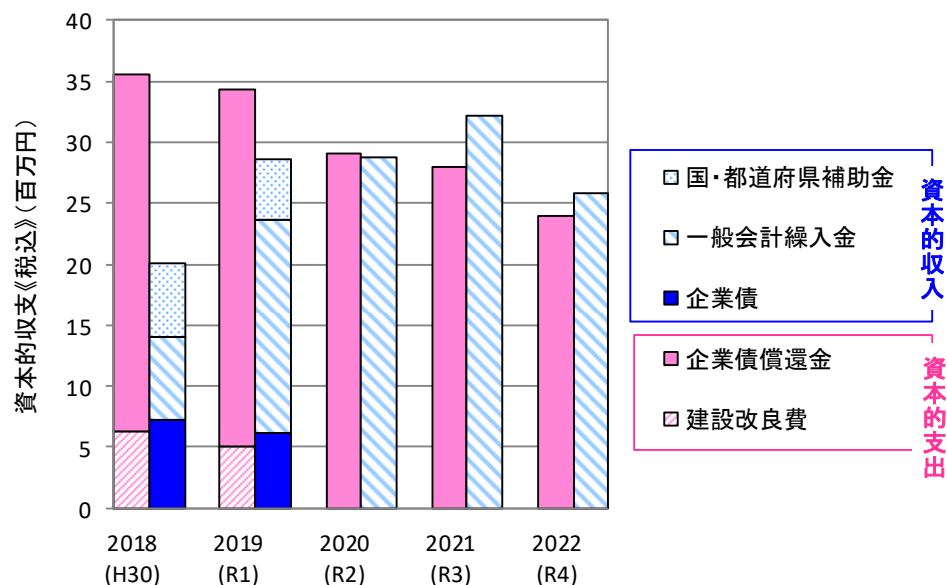
# 5. 近年の経営状況

## 農集排水事業

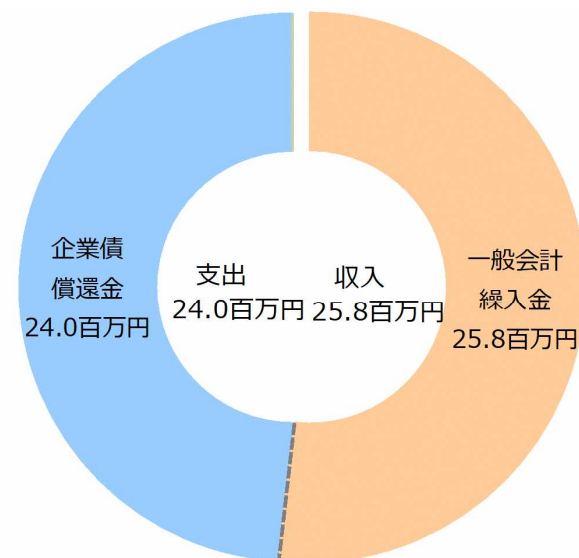
### 過去5年間の実績（資本的収支）

- 平成30年度と令和元年度に建設改良を実施、令和2年度以降は新規の建設改良は実施せず、企業債償還のみを実施。
- 資本的収支は、令和2年度まではマイナスであったが、令和3年度からプラスに転じた。

実績の推移



令和4年度



# 5. 近年の経営状況

## 農集排事業

### 過去5年間の実績（資本的収支）

（下水道管の布設や施設の改良など投資活動で発生する収入と支出）

単位：千円（税込）

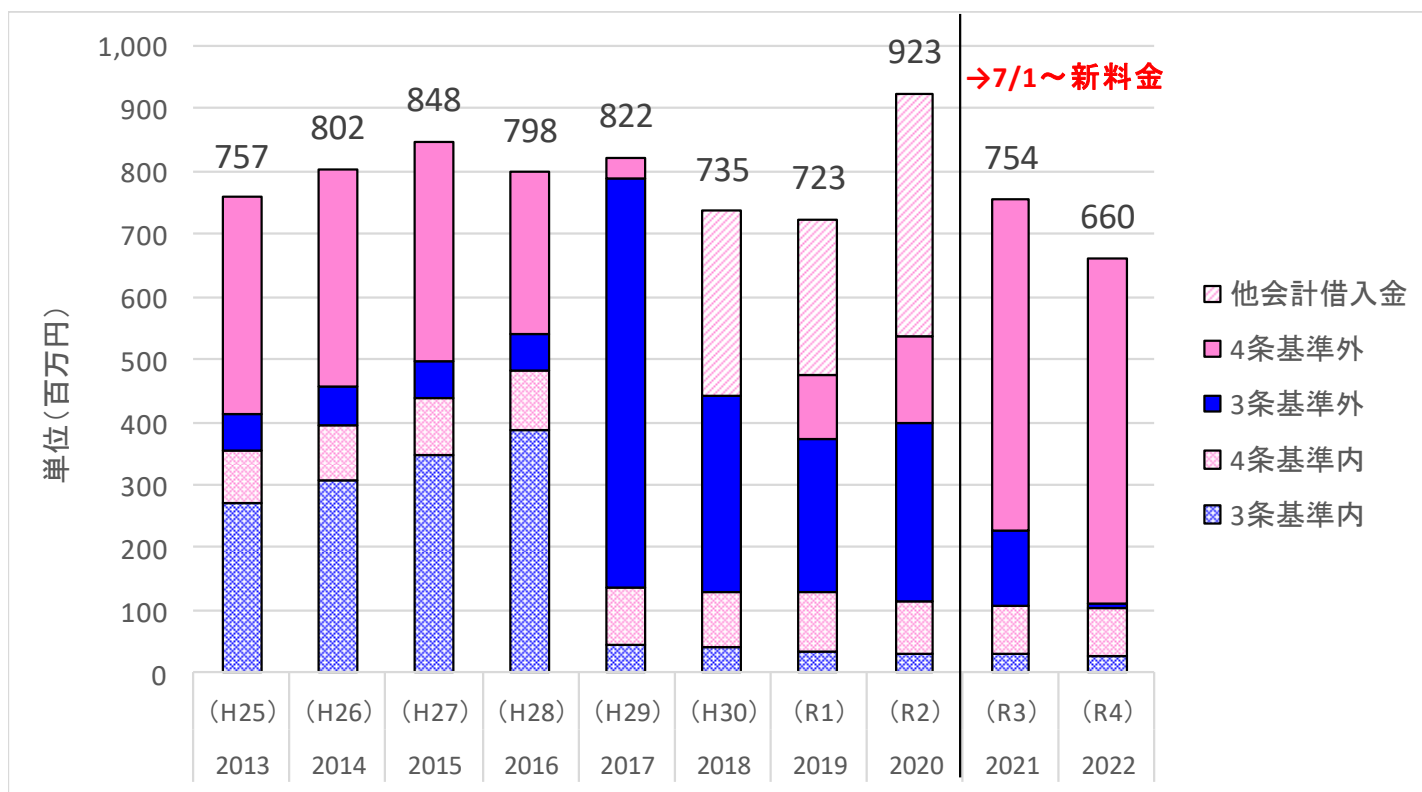
		2018	2019	2020	2021	2022
		(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
収入	企業債(有利子負債)	7,300	6,200	0	0	0
	一般会計繰入金	6,799	17,443	28,699	32,200	25,800
	国・都道府県補助金	6,000	5,000	0	0	0
	その他資本的収入	0	0	0	0	0
	収入合計	20,099	28,643	28,699	32,200	25,800
支出	建設改良費	6,307	5,014	0	0	0
	うち職員給与費	0	0	0	0	0
	企業債償還金(元金)	29,331	29,256	29,004	28,025	23,964
	その他資本的支出	0	0	0	0	0
	支出合計	35,638	34,270	29,004	28,025	23,964
収 支		△ 15,539	△ 5,627	△ 305	4,175	1,836

# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 一般会計繰入金（市からの補助金）の推移＜公共下水道事業＞

- 令和2年度までは財源不足分（実質的な赤字額）について、基準外繰入金（一般会計からの補助）を充当していた。
- 料金改定（令和2年改定、令和3年7月施行）により、3条（収益的収支）基準外は減少。



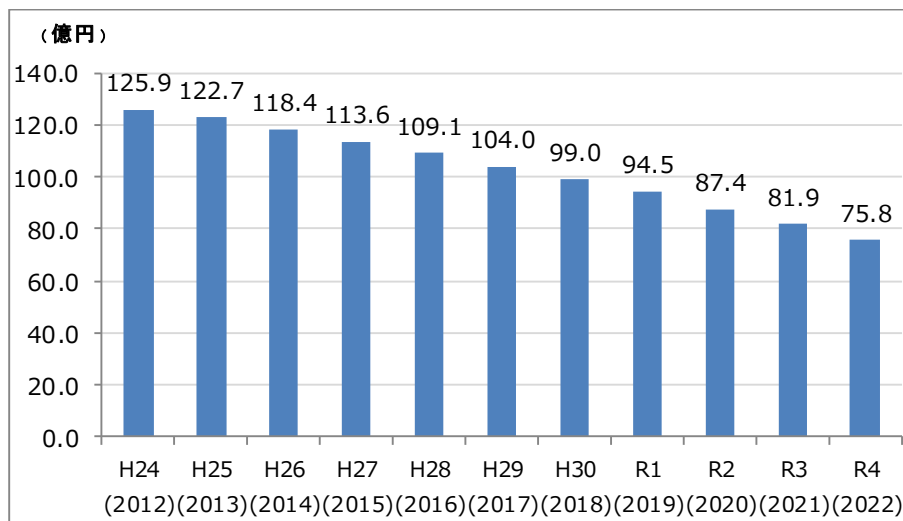
# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業・農集排水事業

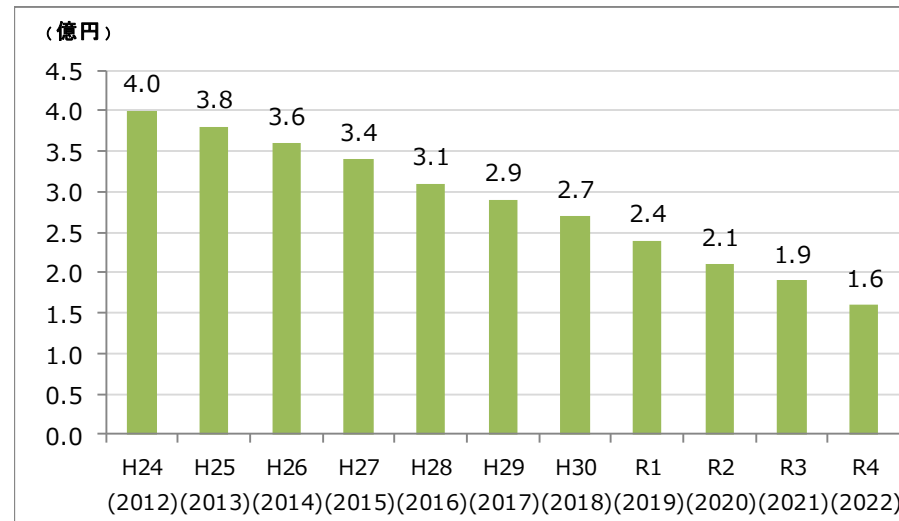
### 企業債残高の推移

- 公共下水道の建設改良費や、流域下水道の建設負担金のための企業債（有利子負債）残高は、令和4年3月末で公共下水道事業は約75.8億円、農業集落排水事業では約1.6億円である。

### 公共下水道事業



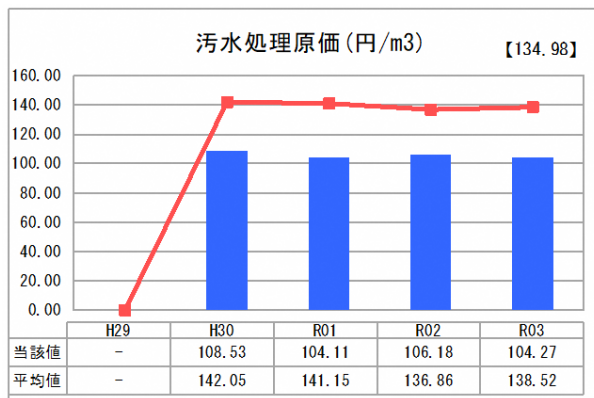
### 農業集落排水事業



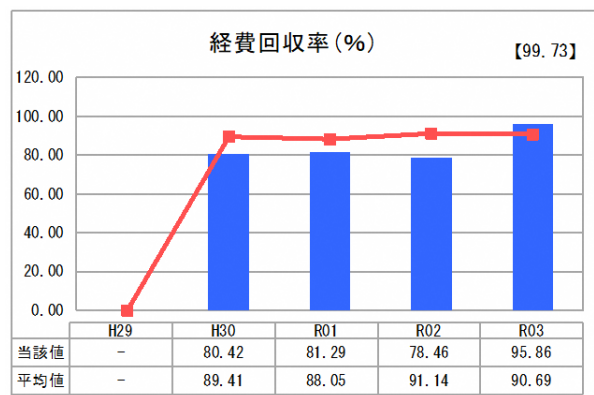
# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

### 施設の効率性

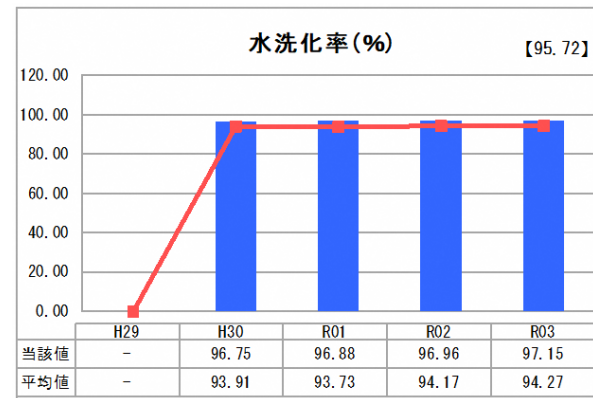


有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理費用であり、汚水処理に係るコストを表した指標。



回収すべき経費を、使用料で賄えているかを表した指標。100%以上なら問題なし

### 経営の効率性



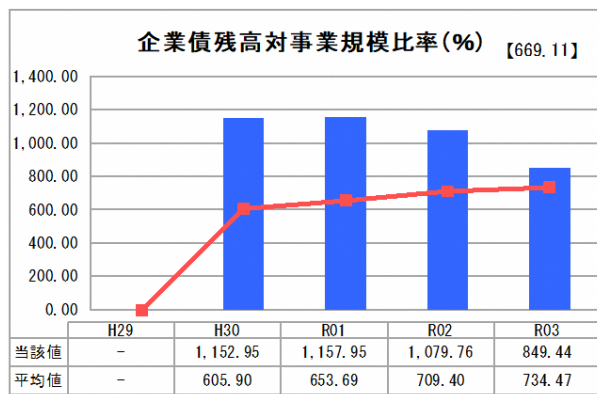
現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標。100%が望ましい。



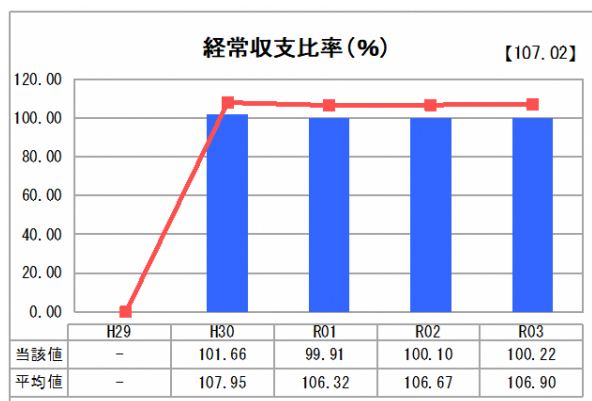
# 5. 近年の経営状況

## 下水道事業

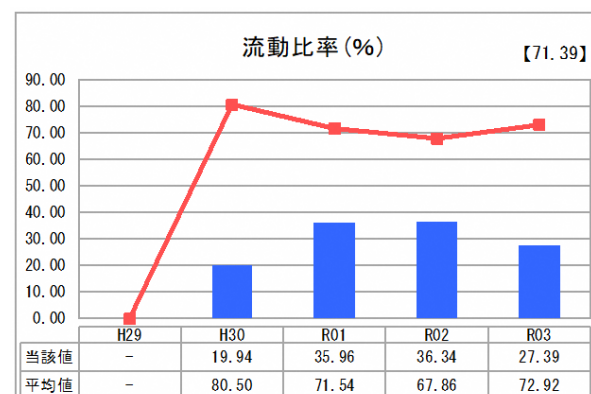
### 財政状態の健全性



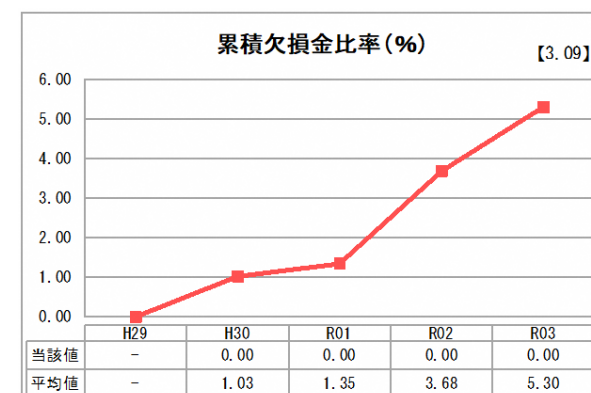
料金収入に対する企業債残高の規模を表す指標。



使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。  
100%以上なら収益 > 費用



短期的な債務に対する支払能力を表す指標。

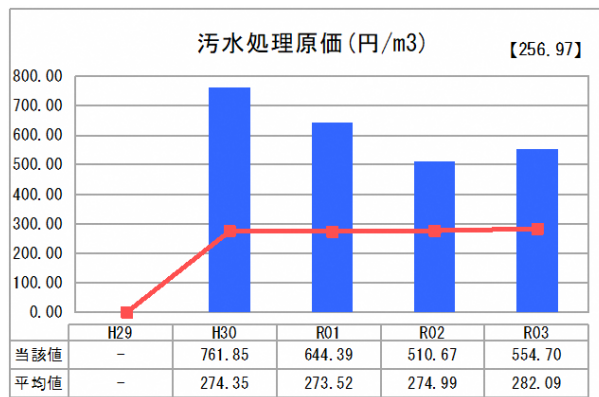


営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標。0であることが求められる。

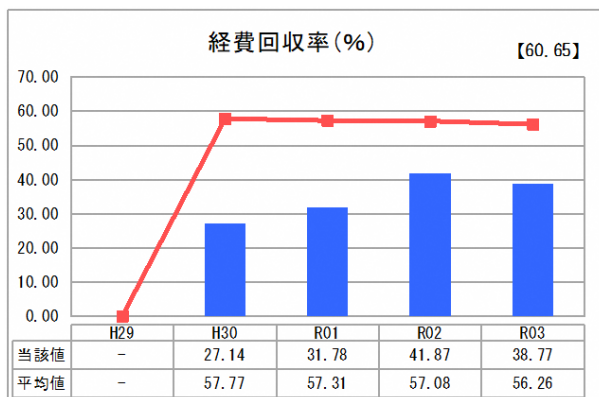
# 5. 近年の経営状況

## 農集排事業

### 施設の効率性

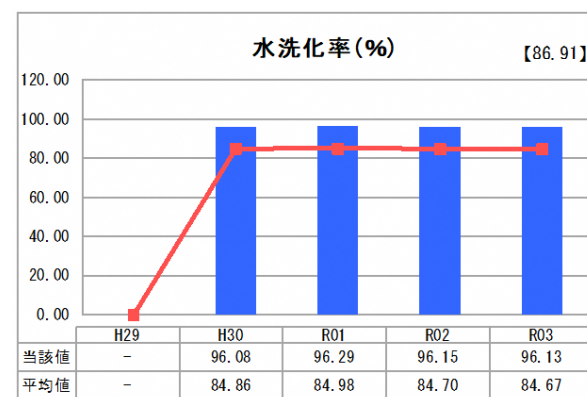


有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理費用であり、汚水処理に係るコストを表した指標。

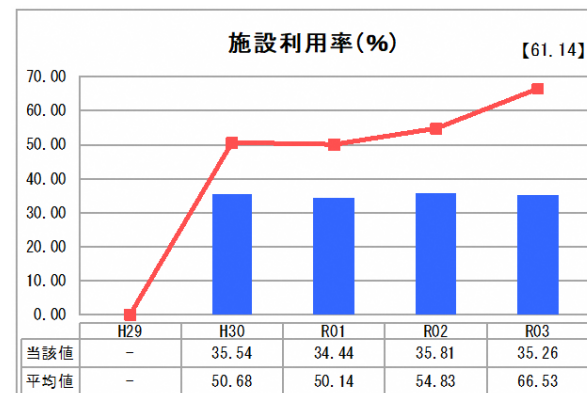


回収すべき経費を、使用料で賄えているかを表した指標。100%以上なら問題なし

### 経営の効率性



現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標。100%が望ましい。

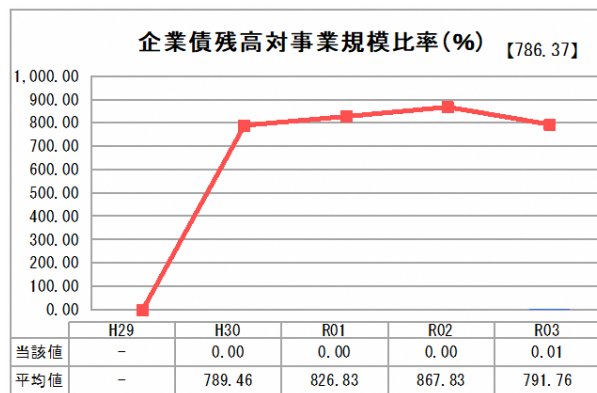


処理能力に対する処理水量の割合で、施設の利用状況や適正規模を判断する指標。

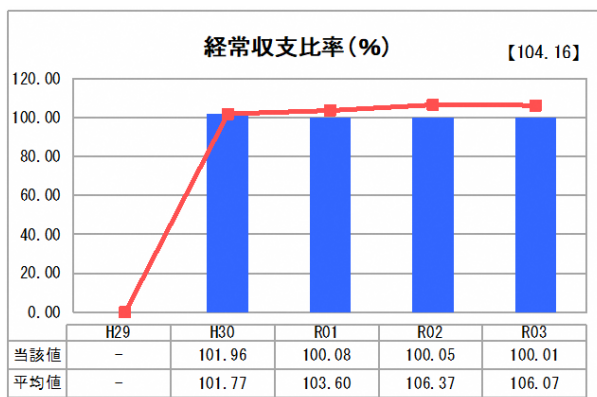
# 5. 近年の経営状況

## 農集排事業

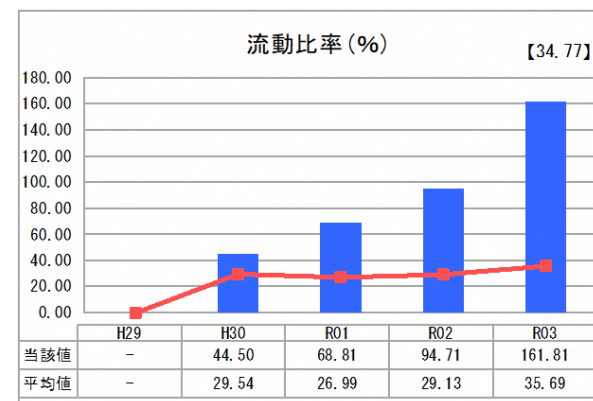
### 財政状態の健全性



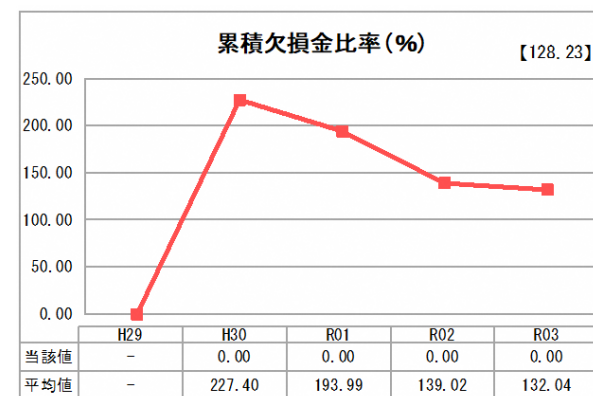
料金収入に対する企業債残高の規模を表す指標。



使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。  
100%以上なら収益>費用



短期的な債務に対する支払能力を表す指標。



営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標。0であることが求められる。

## 6. まとめと今後の進め方

下水道事業  
農集排事業

### ① 上水道の水需要動向を踏まえた今後の下水道有収水量

- まとめ
- 人口は、計画値と近年の動向が乖離している。
  - 有収水量は、新型コロナウイルスや開発の影響もあり、計画値と近年の動向が乖離している
- 今後の進め方
- 上水道との整合を図りつつ、下水道有収水量予測の見直しを行い、**第三回経営審議会**でその内容について報告し、議論する。
- 留意事項
- 京田辺市の推計人口が見直される可能性がある。
  - 2020（令和2）年度以降の有収水量実績は新型コロナウイルスの影響を受けている可能性がある。
  - 開発に伴って、上水道同様、有収水量が増加する可能性がある。

### ② 施策進捗状況などを踏まえた今後の事業量（投資）

- まとめ
- 下水道事業の投資額は計画値を下回っている。
  - 重点施策については、概ね計画通り取り組んでいる。
- 今後の進め方
- 更新需要（今後の事業量）の見直しを行い、**第三回経営審議会**でその内容について報告し、議論する。
  - ビジョンの施策の見直しについては、**第四回経営審議会**でその内容について報告し、議論する。

## 6. まとめと今後の進め方

下水道事業  
農集排事業

### ③ ①、②にもとづいた経営の見通し

- まとめ ▶ 公共下水道事業は、料金改定（令和2年改定、令和3年7月施行）に伴い経営状況は改善したが、今後の汚水量の減少により経営の健全性や効率が悪くなる可能性がある。
- 今後の進め方 ▶ 今後の財政の見通しを行い、**第四回経営審議会**でその内容について報告し、議論する。